

臨床栄養学

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：演習

単 位：1単位

講義時間：30時間

■科目のねらい：

ねらい：適切な栄養ケアを行うために必要な、食生活や栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、栄養・食物と薬の相互作用について学ぶ。

方 法：事例を用い、栄養状態の特徴に適した栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的な栄養マネジメントの考え方を理解する。

■到達目標：①健康時の「栄養状態」について評価・判定できる。

②「栄養状態の特徴」に応じた栄養ケアマネジメントについて理解できる。

③患者・家族に「栄養ケア」の基本を説明できる。

■担当教員：

高野 良子

■授業計画・内容：

第1回 健康と食生活、エネルギー代謝

第2回 栄養素のはたらきと消化・吸収

第3回 栄養補給法、おもな栄養関連疾患と栄養・食事療法の概要

第4回 医療保険制度における栄養・食事療法、福祉・介護保険制度と栄養・食事療法

第5回 ライフステージと栄養1

第6回 ライフステージと栄養2

第7回 栄養状態の評価・判定法

第8回 栄養代謝性疾患の栄養ケアマネジメント1

第9回 栄養代謝性疾患の栄養ケアマネジメント2

第10回 消化吸収機能障害の栄養ケアマネジメント1

第11回 消化吸収機能障害の栄養ケアマネジメント2

第12回 腎機能障害の栄養ケアマネジメント

第13回 食物摂取機能障害の栄養ケアマネジメント

第14回 食物アレルギーほかの栄養マネジメント、食の安全

第15回 在宅医療・介護における栄養ケアのマネジメント

■教科書：系統看護学講座『人体の構造と機能〔3〕 栄養学』／（医学書院）、「七訂食品成分表」（女子栄養大学出版部）／ほかに資料を配布します。

■参考文献：系統看護学講座別巻『栄養食事療法（第3版）』／（医学書院）、他は開講時にリストを提示します。

■成績評価基準と方法：定期試験60%、課題提出物等（小テスト、課題）30%、発表等10%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	○		60
小テスト・授業内レポート	○	○	○	各回の要点を理解していること。	15
授業態度	○	○	○	積極的な姿勢。	10
発表	○	○	○		
課題・作品	○	○	◎		15
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■関連科目：

■その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）：この科目は、看護専門科目での、栄養・食事に関連する問題解決の基礎となるものです。積極的に取り組んでください。